

県内男女100人に聞きました（インターネット&FAX&ヒアリング）

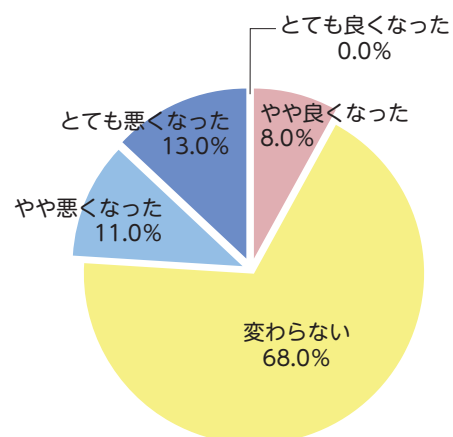
景況感と物価について

政府による5月の月例経済報告の中で、国内の景気について、「緩やかな回復基調が続いている」との基調判断が示されましたが、その好調さは長崎県内で暮らす人々にも及んでいるのでしょうか。今回は、県内の会社員・主婦・高齢者の皆さんに、現在の景気や物価に対する意識について調査しました。

1. 現在の景気は、昨年と比べてどのように変化したと感じますか？

現在の景気は、昨年と比べて、約7割の人が「変わらない」と答えました。

「変わらない」と感じる理由としては、「賃金が上がらない」や「わずかなベースアップはあったが住宅・育児の為の出費は増える」など「賃金」に関する意見が目立ち、「現状維持の状態が続いている」、「贅沢できない」、「年金生活者に変化はない」といった意見もみられました。



一方、「とても良くなった」と答えた人はおらず、「やや良くなった」と答えた人は100人中8人でした。「良くなった」と感じる理由としては、「就活が売り手市場となっている」、「アニメ関係の集まりに行くと好きなことにはみんなお金を使っているのが分かる」、「予備校講師をしているが、生徒さんの授業を受ける授業数が増えているから」などが挙げられました。

また、「やや悪くなった」「とても悪くなった」と答えた人は全体の約4分の1を占めています。「悪くなった」と感じる理由としては、「給料が上がらない」、「手取りが減った」など「賃金」に関する意見が目立つと同時に、「物価の上昇」や「介護保険料の増額」など収入に対し支出が増えている様子が見えます。

「アベノミクス景気」の拡大が続いているといわれていても、県民にとっては、景気回復の実感は乏しいようです。

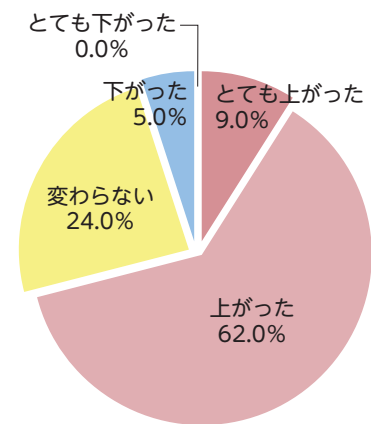
2. 現在の物価は、昨年と比べてどのように変化したと感じますか？

現在の物価について、昨年と比べて「上がった」と答えた人は100人中62人で、「とても上がった」も合すると、7割超となりました。

物価が上がったと感じる理由としては、「食料品」、「酒類」、「日用品」の値上がりの他、「安売りなど少なくなった」、「特価品が値上がりしたり、種類が減ったように感じる」、「価格は変わらないが内容量が減っている」といった意見も挙げられました。

「スーパーに行ってもなかなか買えない。変な話、見切り品を見つけている自分がある」、「お酒類など上がってたくさん飲めない」、「高価なものは買わない」など、家計に合わせ生活を工夫している様子がうかがえます。

一方、物価が「下がった」と答えた人は100人中5人で、その理由としては「大型チェーン店では、衣食、どれも割安に感じる」や「物の性能、品質などは上がってきているから」などが挙げられました。



調査方法：(有)みかんコミュニケーションズが運営する長崎県内女性ネットワークMONET登録会員を中心に、インターネットとFAX及びヒアリングにより県内在住の男女100名より回答を得ました。

調査期間：2017年6月1日(木)～6月13日(火)

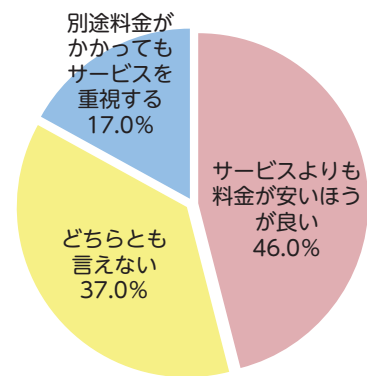
回答者属性：【性別】男性36名、女性64名 【年齢】：10～20歳代9名、30～40歳代48名、50～70歳代43名
【居住地】県南地区79名、県北地区3名、県央地区11名、離島地区7名

3. 人手不足や企業の働き方改革の一環として、全国的にみても、大手宅配会社で配達的时间帯や再配達・料金の見直しや、小売業では営業時間や曜日を見直す動きがあります。サービス内容と料金で重視するのはどちらですか？

宅配便や小売店の利用において、「サービスよりも料金が安いほうが良い」と答えた人は100人中46人で、「別途料金がかかってもサービスを重視する」と答えた17人を大きく上回りました。

「料金が安いほうが良い」と答えた人の中では、「過剰なサービスはいらない」、「時間がかかっても安い方がよい」、「サービスは人によって満足度が違うので価格の方が比較しやすい」等の意見がみられました。

一方、「サービスを重視する」と答えた人の中では、「サービスがよくなって便利なほうがいいから」、「安いだけで、サービスの質が低下したら逆に損した気分になると思います」等の意見がみられました。



ご意見いろいろ

- 24時間営業の店が増えてきた時、本当にどれだけの人が利用するのか疑問だった。最近は営業時間が短くなってきたのは充分それでいいと思う。
- あまり宅配を利用しないので、限られたサービス内容で十分。全国的に人手不足と言われているので、解消するには、値上げも仕方ないと思う。
- サービス過剰だと思う。物は多すぎ、電気も使いすぎ、スマホ片手に全てが可能になるかのような錯覚がある。もう少し、スローでいいと思う。
- 自分が配達する側になって再配達も時間帯を考えて依頼します。送る時の指定時間を確実にすれば送る側・受ける側の責任で良いと思います。
- 人の我がまま（サービス）に無償／安価格で対応してきた結果だと思います。贅沢になりすぎ→24時間営業が少なくても、定休日があっても、年末年始休日が増えても国民が理解できれば生活できます。
- サービス業の人達が深夜遅くまで働いていたり、休日出勤したりすること自体が改善されればいいと思う。行き過ぎたサービスは利用する側は有難いが、サービスに見合った料金体系が構築されるべきだと思う。
- きめ細やかなサービスに慣れているが、ないならないであきらめがつくはず。
- 宅配業者さんが指定時間に來れなかった時に、申し訳なさそうにしてたのが逆に申し訳なかったなと思ったこともあり過剰なサービスはいらないんじゃないかと考えるようになりました。サービスして欲しいなら別途料金を払うだろうし、もう少し簡単にコンビニや宅配業者の店舗に取りに行けるようになるといいなと思っています。
- コンビニ受取を利用しています。指定したコンビニに荷物が着いたらメールが届くので、指定時間帯に自宅にいらなくても大丈夫ですし、宅配業者にも迷惑かけなくて安心です。
- あまりにも今の人たちは自分の要求をしすぎではないでしょうか。その分、配達の人たちに負担がかかり、人手不足にもなるのではないかと思います
- 低価格と過剰なサービスを求めすぎた結果が、今の経済の低迷を招いたのだと思う。安心安全できちんとした物を作るためには、それなりの時間と労力が必要なので、それに見合った対価をつけられるような経済環境ができると、正規雇用も増え、賃金もあがり、財布のひももゆるんでうまく経済がまわっていくのではないのでしょうか。